



夕刊  
 京都新聞社  
 The Kyoto Shimbun Co., Ltd.  
 発行所 〒604-8577  
 京都市中京区烏丸通夷川上ル

**最終**  
 従来のプロセス  
 22日  
 応答  
 ・文誌  
 ・概要  
 ・精密  
**の歴史**  
 第1次吉田内閣発足  
 1946(昭和21)年  
 第1次吉田茂内閣が発足。吉田は公職追放になった鳩  
 尾の代りに、並行して使用  
 済み核燃料の貯蔵能力拡大  
 策を強化する。

- 基本方針改定のポイント**
- 将来世代に負担を先送りせず「地層処分」に向けた対策を進める
  - 国が「科学的有望地」を示し、地方自治体に調査協力を申し入れる
  - 将来世代が最良の処分方法を選べるよう、政策や事業の変更を可能にする
  - 使用済み核燃料を再処理せず直接処分する技術開発を進める
  - 国は受け入れ地域の持続的発展を支援する
  - 使用済み核燃料の貯蔵能力拡大を進める
  - 国の原子力委員会は処分地選定手続きの妥当性を評価する

**困難な状況 変わりなし**

【解説】

政府は長年、国策として原発を推進しながら「核のごみ」問題は棚上げし、電力業界に対応を丸投げしてきた。福島原発事故を契機に批判が高まり重い腰を上げたが、最終処分地選定が極めて困難な状況は変わらず、すぐに進展が望める見通しが立つわけではない。

政府は2000年、最終処分に関する法律を施行し、高レベル放射性廃棄物は地下300メートルより深く埋める方針を決定。電力会社が中心となって原子力発電環境整備機構を設立し、02年から全国の市町村に候補地を公募してきたが、安全性への懸念などから全く進展がないままだ。

国が科学的根拠を示す新方式は、処分地の適性調査を受け入れる自治体側の負担を軽減する狙いもある。自治体が手を挙げる従来の公募制では賛否をめぐり地元住民の間で対立が起きた場合、首長に説明責任が求められるなど政治的なりすくが大きかったためだ。

新方式の場合、自治体に拒否権があるものの、国の一方的な押し付けになりかねないとの懸念もある。世界でも現在、最終処分地が決まったのは北欧のフィンランドとスウェーデンだけ。米国やドイツでは十分な合意形成ができず計画が途中で中止されるなど処分地選定は世界中で難航しており、長い時間をかけた丁寧な取り組みが不可欠だ。

**加茂定**  
 京都市下京区万寿寺通高倉西入  
 ☎(075)351-0128(代表)  
 http://www.kamosada.jp

◆押しつけなら困る。核のごみ処分地選定、公募から国王導へ。で、元を断つ発想は？

◆元を断つ発想はここにもなく。NPT会議。核廃絶への「禁止条約」の文言も削除。

◆看過できぬ、航行自由の妨げ。「世界の警官」が中国人工島で警告。南シナ海波高し。

気

6	12	18	0	最高	最低
☁	☀	☁	☁	28	13
0	0	0	10	(23.7)	(13.1)
☁	☀	☁	☁	28	15
0	0	0	10	(25.3)	(14.8)
☁	☀	☁	☁	26	14
0	0	0	0	(22.8)	(13.9)
☁	☀	☁	☁	26	14
0	0	0	10	(23.9)	(13.8)

※ 天気の下数字は降水確率(%) ( )内は平年気温



色鮮やかな手作りの和傘が天井に並ぶ工房 (京都市上京区・日吉屋)

**和傘「柄フル」 梅雨を楽しく**

【上京】

梅雨入りを前に、和傘づくりが京都市上京区寺之内通堀川東入ルの和傘製造・販売「日吉屋」で追い込みに入っている。最近では個人用に家紋や名前を入れるニーズがあり、工房ではカラフルな下地の和傘に柄が浮かび上がっている。

京都市内で和傘を組み立てから仕上げまで一貫して製造しているのは同社のみ。毎年、5月下旬から雨傘の注文が増え始め、「蛇の目傘」や野立て用など年間約1200本を製造している。寺社や祭り保存会などから修理の依頼も増えているという。

作業は、手で竹骨を組み、和紙を貼る。防水のために油をひいてから天日干しする。完成までに1カ月半かかる直径33センチほどの大型の和傘もあり、紫、赤色の定番色に緑、柿色などが加わり、さまざまな和傘が工房を彩っている。従業員の平山大輔さん(31)は「伝統的な傘で過ごす梅雨を楽しんでほしい」と提案する。(薄田和彦)

22日夜は各地